

1. 事業の位置付け

事務事業名	防犯対策推進事業		
事業担当	市民部 くらし安全課		
予算科目	01-020109-030000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	01	①〈安全〉 災害に強い安全なまちづくりを進める	
	01	1 安全に対する意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 警察・防犯協会・自治会等】		
目的・目標		事業の概要	
市民・警察・行政が連携し、防犯に対する啓発活動などを実施することにより、市民の防犯活動や防犯対策に対する認識が高まっています。		防犯意識を高揚し、犯罪を未然に防止するため、関係団体と連携して地域安全運動などを実施します。また、看板の掲示やチラシの配布など地域防犯活動を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	市民・警察・行政が連携した地域安全運動実施回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			3	3	3			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	犯罪発生件数						単位	件
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			4,500	4,400	4,300			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果 地域安全運動を計4回実施した。刑法犯認知件数が前年と比べ620件減少した。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	近年の多様化する犯罪に対して、市長への手紙などにより市民から防犯対策強化についての要望が寄せられている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	継続的に実施していくことで、広く市民に啓発し、防犯活動を身近なものとして行っていくことが期待できる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市・警察・市民が協働して啓発活動等を展開することは市民の防犯意識を高めるため妥当性が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市のみでなく、多くの関係者を巻き込むことで、より効率的に事業を展開している。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

今後に向けた課題の分析

地域での防犯活動は、防犯協会支部や自治会が主体で実施している。市はその事業に対して、啓発物品等を提供していくことで支援している。また、地域安全運動については、関係団体と連携して実施している。このような事業を継続的に実施しながら、市民の防犯意識を高めていく必要がある。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				地域安全推進大会 、防犯啓発活動の 実施	地域安全推進大会 、防犯啓発活動の 実施	地域安全推進大会 、防犯啓発活動の 実施		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	3,116	2,436	3,397	0	0
事業費 (A)		0	0	3,116	2,436	3,397	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	91.73				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.90	0.90	0.90	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	7,552	7,552	7,552	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	10,668	9,988	10,949	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 防犯活動は、地道な活動を継続して行っていくことで効果が上がるものである。引き続き、現状を維持しながら事業を実施していく。	
平成21年度取組方針	
職員を増やすことは困難なため、関係団体と連携・協働しながら事業を進めていく。啓発物品購入は、効果的な物を効果的に配布していく。推進大会はより効果的に防犯に係わる意識を高めるよう、防犯協会、警察とも協議しながら見直しを検討する。防犯協会補助金は20年度中に見直した内容に則り、その適正化を図っていく。	
課長コメント	防犯対策は、警察・行政・防犯協会・防犯協会各支部・自治会等が連携し、多くの市民の参加を得て実施していくことが大切である。市街地中心の対応だけでなく、各地域がどのような地域の防犯課題に取り組んでいるのか、また、取り組もうとしているのかを把握し、効果的な支援策を検討する必要があると考える。